

蚊の対策のポイントを押さえよう！

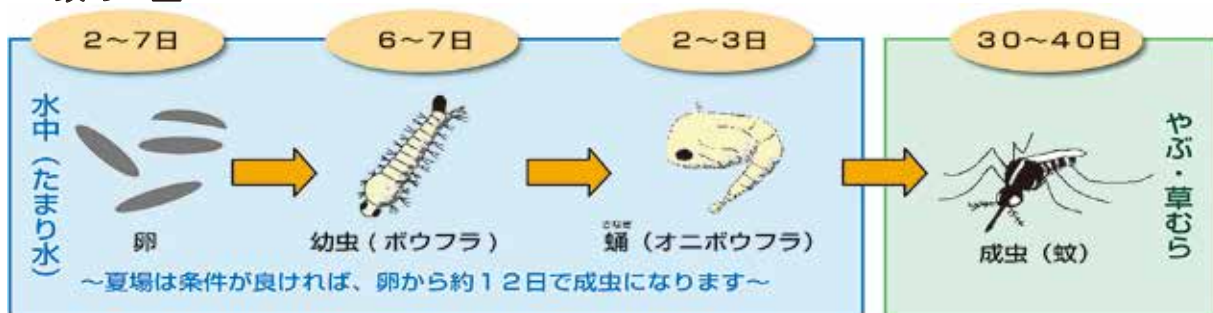
蚊は刺されるとかゆいだけでなく、デング熱等の感染症の原因となる病原体を媒介します。蚊の発生場所や防除のポイントを知り、蚊の対策を心がけましょう。

蚊を減らすために(幼虫対策)

蚊は水中に卵を産み、幼虫は水中で成長します。そのため、たまり水をなくせば、蚊の発生を抑えることができます。

身の回りの「たまり水」をなくしましょう。

～蚊の一生～



蚊が卵を産む身近なたまり水！



空きビン・空き缶 植木鉢の受け皿 じょうろ こどものおもちゃ タイヤの水たまり
屋外にある不要なたまり水をなくし、蚊の幼虫が生息できない環境を作ること
で、蚊の増加を抑えることができます。

蚊に刺されないために(成虫対策)

ヒトスジシマカはやぶや草むらに潜み、日中に吸血する傾向があります。そのため、日中に屋外で活動する際には蚊に刺されないための対策が有効です。

- ・外出時は長袖や長ズボン、帽子等を着用して肌の露出を控えましょう。
- ・いわゆる虫よけスプレーなどの忌避剤は数時間おきに塗りなおすと効果的です。
- ・窓を開けるときは、網戸を活用しましょう。
- ・やぶ、草むらをなくしましょう。



【この記事に関するお問合せ】生活環境安全課 環境衛生担当

ご案内

東京都多摩府中保健所は、武蔵野市・三鷹市・府中市・調布市・小金井市・狛江市を管轄しています。

東京都多摩府中保健所

〒183-0022 府中市宮西町一丁目26番地の1
東京都府中合同庁舎

電話：042-362-2334(代) FAX：042-360-2144

武蔵野三鷹地域センター

〒180-0013 武蔵野市西久保三丁目1番22号
電話：0422-54-2209(代) FAX：0422-56-0911

東京都

多摩府中保健所

検索

登録番号(8)1 令和8年6月発行
編集・発行/東京都多摩府中保健所

